

埼玉県誕生150年 持続的な成長へ

デジタル変革が経済立て直しを後押し

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

第2部
11月30日 火曜日
2021年(令和3年)
埼玉県特集

KHK®
STOCK GEARS

INDEX

- 大野元裕埼玉県知事 経済回復へ「産官学金労」で対策を前進
- 産業立地 県企業局、大栄不動産
- 県内企業経営者 紙上プレゼン「コロナ禍での事業戦略/コロナ後の成長戦略」ニソール・田崎勝也社長、日さく・若林直樹社長、AGSシステムアドバイザー・金子正男シニアスペシャリスト、戸塚重量・金子俊光社長
- 第43回埼玉県産業振興懇談会(紙上懇談) 県幹部10氏との意見交換
- 県内金融機関の円滑な資金供給
- 中小企業を支える日本政策金融公庫
- 県内10大学トップインタビュー 埼玉大学、日本薬科大学、日本工業大学、ものづくり大学、埼玉工業大学、東洋大学、東京電機大学、埼玉県立大学、人間総合科学大学、城西大学
- 清水勇人さいたま市長「経済立て直しへ支援内容を強化」
- 市・産業支援策
- 白川俊介関東財務局長 濱野幸一関東経済産業局長
- 埼玉産業人クラブ(TDU,NITEC) 人・ヒト・ひと

白岡冶金

白岡冶金(埼玉県白岡市)は、精密機械や輸送機械など向け部品の熱処理加工を手がける。同社の強みは「高精密な熱処理で長く使える品質の高い製品を製造することだ」と鈴木一介社長は胸を張る。工場内では1990年代から無人化設備を積極的に導入し、省人化を図っており品質にばらつきが少ない。熱処理は見た目には変化がわかりにくいですが、顧客には「目に見えないものを信じてもらえている」と(同)自負がある。



金型などを焼き入れする真空炉で日常点検している様子。工場内は無人化が進んでいる

高精度な熱処理 品質支える

職人仕事の工業塗装にIoT(モノのインターネット)を持ち込んだ久保井塗装(狭山市、窪井要社長)。塗料の在庫管理から塗装品ごとに変わる塗料の調合、生産計画、検査・出荷管理まで一貫してIoTで提供する。スプレー塗装ではロボットを活用し、塗料の吐出量や霧化パターンといった項目を調整。塗料使用量を極小化する。「塗装は温度や湿度の違いで大きく変化する。季節ごとの調整もプログラム化している」と(窪井社長)という徹底ぶりだ。

職人仕事の工業塗装にIoT

久保井塗装



IoTと塗装ロボットの活用で塗料使用量を削減し、SDGs達成への貢献も目指す

200品目 30,000種の標準歯車
新カタログ
2021
総合カタログ KHK2021 無料配布中!
小原歯車工業株式会社
本社 048-255-4871(代) FAX:048-255-2269



熟練技術者が目視で行っていた巻き線間隔のチェックを自動化する

品質検査にIoT活用

日さく(さいたま市大宮区)はIoT(モノのインターネット)を活用し水源井の取水能力を高める「NSTスクリーン」巻き線部の品質検査の自動化システムを構築する。従来NSTスクリーンの出荷前検査は熟練工の目視で実施。手間を要したばかりに不具合を見逃すリスクがあったためだ。2021年内に導入する予定。技術開発本部の高橋直人部長は「技術者の負担軽減と見逃し防止につなげたい」と力を込める。

IoT

テラルクリタ

圧力扇の運転状況 自動検査

テラルクリタ(埼玉県北本市)は電気機械器具の製造などを手がける。同社は工場内で使われる圧力扇の運転検査へのIoT(モノのインターネット)活用に取り出す。従来、電流や消費電力などの測定データを目視してパソコンに手入力しており、時間と手間を要していた。新システムは新型の検査測定器によりデータを自動取得し画面上に表示する。22年頭にも本番運用する。藤井泰幸取締役事業所長は「生産性向上につながる」と期待する。



工場や倉庫に設置される圧力扇は、売上高の3割を占める主力製品だ

MASDAC 株式会社 マスタックマシナリー

<p>絞る</p> <p>単体機から、超高速機までラインナップ。 デポジッター</p> <p>システムデポジター</p>	<p>焼く</p> <p>焼きムラなくお菓子を美味しく焼きあげます。 トンネルオーブン</p> <p>キャタピラオーブン</p>	<p>蒸す</p> <p>美しい蒸しあがり。蒸しムラ、結露による製品ロスを低減。 スチーマー</p> <p>トンネルスチーマー</p>	<p>どら焼</p> <p>小型機から全自動機まで。どら焼300~14,000個/時。 どら焼機</p> <p>全自動どら焼機</p>
--	--	---	---

本社/〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0162 [URL] https://www.masdac.co.jp

精密鑄造海外生産のパイオニア 40年の海外生産実績

株式会社 **林ロストワックス工業**

自動化造形ラインにより、大ロット・短納期・低コストを実現
機械加工完成品納入対応・オリジナル材質での鑄造実績も豊富

本社 新潟県柏崎市西山町黒部 445 0257-48-2331 生産拠点 大連(林)精密鑄造有限公司
東京事務所 埼玉県川口市宮町 18-19 048-240-2350 ISO9001, ISO14001
大阪事務所 大阪市淀川区西中島 4-1-1 06-6304-5803 IATF16949 認証取得自社工場

光通信機の総合メーカー 七星科学情報通信
つながる時代の安心を提供

FD/SD-008シリーズ SerDes機能搭載 光デジタルリンク
DMシリーズ 接点光通信機 マルチドロップで複数箇所へ
VP-1004シリーズ フル4K映像を非圧縮で最大10Kmまで延長可能

NKKC 株式会社 七星科学研究所 情報通信事業部 ICT機器の総合メーカー
〒359-1142 埼玉県所沢市上新井5-85-10 TEL: 04-2937-5905 FAX: 04-2937-5906

詳細は **NKKC** で検索 <http://www.nnbs-develop.com> E-mail: kaihat-c@nanabosi.co.jp

工業用クロム最大4300L×2700W×1300H 大型部品 樹脂
048-281-4182 048-282-2860 親切丁寧 硬質めっき
プラス C-FRP塩ビ鑄物 即日対応 クロムめっき
耐食性 埼玉県バフ研磨 鏡面仕上げ 川口市 高硬度
Ni-P 新硬クローム工業 金型 手作業
密着性
南鳩ヶ谷 機械部品 全国めっき技術 I-Cr 耐摩耗性
創業57年 製作 3-18-18 コンクール優勝 漆腕 治具合わせ
無電解ニッケル 部品 押出成形 自社電極製作

コロナ禍の事業継続

埼玉県内の企業経営者は、コロナ禍で劇的に変わった事業環境の下、「経済回復から持続的な成長に」の合言葉と歩調を合わせて、歩み始めている。新型コロナウイルスは人々の安全を脅かすにとどまらず、デジタル変革(DX)に代表されるよう企業人が長らく続けてきた業務上の慣習を修正させるに至った。そこで、埼玉県内の企業経営者4人に「コロナ禍での事業継続/コロナ後の成長戦略」をテーマに語ってもらった。

経営者は語る

当社は井戸を掘るべく井工事を手がけ、1972年(明治45年)に創立し、創業100周年を迎えました。さく井工事のみならず、特殊土木工事や地質調査、井戸用設備製造も行っています。新型コロナウイルス感染症拡大により、海外への行き来ができなくなったため、海外事業が延期になりました。それは他社も同様です。海外事業の中断により、国内官庁からの発注案件の受注に参入しており、国内の競争環境は激化しています。

当社は全体の受注高に対する海外比率が約割を占めているため、海外事業中断は厳しい状況でしたが、国内公共事業が堅調に推移したことでカバーしました。

現在、海外事業は政府開発援助(ODA)案件のみに対応していますが、今後は海外子会社を増設したいと考えています。外国人社員が帰国後、当社で培った技術を活用できるような環境も整備しています。

コロナ禍で技術者の移動も抑制されました。その中で、

日さく 若林 直樹 社長



現場管理業務の一部にリモートを活用しました。遠隔で現場状況を確認し、現場担当者である中堅・若手社員に指示しておりました。

結果として、今後も継続的にオンラインを業務に取り入れられる部分があることが分かりました。井戸を掘る仕事のなかで、難しい判断が必要な場合はもちろん現場に向かう必要があります。ただ、地層の状態に対応して掘削する機械を変更する、といった場合は、オンラインでも実施できます。働き方改革にもつながることでしよう。

このように、コロナ禍により働き方も変化しています。当社ではテレワークを推進しており、現在、実施経験者率は43%となっております。また現場作業や出張の場合は直行直帰を原則とするほか、事務所への出勤、立ち寄りも最小限としています。

以前から人材が企業の最大の資産と感じておりましたが、コロナ禍を通して、人材への投資がより大切になると感じました。これからのウィズコロナ、アフターコロナの

現場状況をリモートで管理

持続的成長へ「地方回帰」重要

時代には、より「モノ」「モノ」「モノ」ではなく「人」「ヒト」「ヒト」という時代が到来すると痛感しています。

その一環として、女性や外国人、高齢者活躍といったダイバーシティ経営を進めたいです。さらに今後は障がい者雇用も取り組む計画です。

そんな中、当社の女性社員が「若手技術者・女性技術者活躍大賞」を受賞しました。これはほかの女性社員のキャリア形成にも好影響を与え、大きな励みになるでしょう。

人生100年時代、社員一人一人が心身共に健康であることが大切です。当社は定年が65歳ですが、働く中で健康を維持し退職後もそれを維持してほしいと考えています。

また、持続的な成長には「地方回帰」の視点が重要と感じます。現在、大都市を中心に事業を行っていますが、きめ細かな事業を展開するに

出し付加価値を稼ぐしかありません。それには設計製造を素早く終えられる産業基盤が必要で、そこにAIの出番があります。

さらに電子機器や基板の設計を受託した顧客に対し、その製品の販売まで支援する事業も始めました。カタログや取扱説明書に始まり、展示会への出展や販促グッズ、ホームページの制作などすべてを一括で請け負います。当社がその製品をつくっているから、つまり知り尽くしているからこそきめ細かいサポートができます。コロナ収束後は展示会も徐々に再開されるので十分に成長できると期待しています。

【企業データ】
 ①1972年②1億円③さく井工事④さいたま市大宮区⑤048・644・3911

経営者は語る

コロナ禍以降、当社はさまざまな事態に見舞われ、一時は先行きがまったく見えない苦境にも陥りました。昨年春、1度目の緊急事態宣言が出た時、当社の主要顧客である大手電機が一斉に休業や在宅勤務に切り替わったためです。また、またま育休や介護に携わる女性向けに在宅で仕事ができる回路設計用ソフトを商品化してしまいました。早速これを一般向けに切り替え、売り出そうとしました。

まさにそのときです。先代社長だった私の父が倒れました。会社は仕事も指揮官も一度に失い、私も一方で仕事の確保に奔走し、他方で経営の引き継ぎに忙忙を極めて、明日をも知れない日々を送りました。幸い5月頃から仕事が戻り始め、父の容体も一時的に回復し、重要な作業も無事終えることができました。7月には私が正式に社長を引き継

ニソール 田崎 勝也 社長



「誰一人取り残さない」という理念はすべての取引先や顧客の事業活動、そして社員全員の生活を持続可能にするという点で、中小でもできることがあると意を強くしました。

具体的には教育の提供や環境負荷の低減、地域貢献などを盛り込みましたが、本業では9番目の「産業と技術革新

SDGS軸に事業方針策定

地域貢献・技術革新など具体化

の基盤をつくらう」に向け、電子産業の技術革新への貢献を事業戦略に落とし込みたい。一つは世界を対象にした電子ライブラリアクターの標準化です。電子機器の設計製造スピードが加速する中、CAD(コンピュータ利用設計)に落とし込めるデータ量が非常に重要になっていいます。しかし中小企業はその量が圧倒的に少ないのが現状です。英・米企業のライブラリアクターがありますが、日系企業でもありますが、日系企業のデータが足りません。そこで当社が日本の中小も利用できるようなプラットフォームの提供を目指します。

もう一つは人工知能(AI)を活用した次世代電子CADの開発です。製造だけでなく設計も海外へシフトする昨今、日本は新しい製品を創

【企業データ】
 ①1985年②6500万円
 ③電子機器・プリント基板の設計、CAD/CAMソフトの開発販売④狭山市⑤04・29588・8900

- 企業データ
- ①設立年
- ②資本金
- ③職種・事業内容
- ④本社所在地
- ⑤電話



